

美郷がいちばん、すきです美郷

第22号
2010.1.15

ふたし 議会だより



12月定例会

心新たにまちづくりがスタート	定例会概要	2
議長年頭のあいさつ		3
賛成多数で可決する	議員発議	4
3議員が町政を質す	一般質問	6
あったか山の大家族	キラリ美郷人	10

全県大会に向けて猛練習

(仙南中学校クロスカントリーチーム)

発行／秋田県美郷町議会
編集／議会広報特別委員会

役場庁舎を一本化 心新たに まちづくりがスタート



スタートに向けた準備作業



美郷町中央行政センター



美郷町南行政センター

12月定例会を、12月11日から16日までの6日間の会期で開きました。審議した議案は、公共施設の再編にともない制定される行政センター設置条例など26議案。そのすべてを原案のとおり同意・可決しました。

また、一般質問は3議員が町政をただし、陳情7件を採択し1件を趣旨採択しました。

それぞれ公的団体に貸し付け、指定管理者での維持管理を図る条例です。

議会では、この条例案を全員賛成で可決しました。

美 郷町は、合併後の5年間、町民の利便性などを考慮して分庁舎方式を採用してきました。しかし、町の歳入減少や職員数の減少が進む中、これまでの行政サービス水準を維持するためには公共施設の維持管理費削減と業務の効率化が不可欠でした。

平成22年1月1日、その

今 定例会で制定した『美郷町行政センター設置条例』は、この公共施設再編計画にともなうもので、旧六郷庁舎を「美郷町中央行政センター」とし、旧仙南庁舎を「美郷町南行政センター」とし



美郷町議会議長
高橋 猛

年頭のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
昨年、世相を表す漢字一文に「新」が選ばれました。新政権、新型インフルエンザ

からきたようですが、議会も昨年10月から「新」体制でスタートし、町も今年から「新しく」本庁方式での業務が動き出しました。気持ちも「新たに」頑張らなければと思っ

ても大変名誉なことであり今後より一層、町民の皆様から読み易い、また、議会活動を的確に伝える紙面の提供に努めるよう意をはらってまい

何かと先行き不透明な時代ではありますが、本年が皆様にとりましてより良い年となりますよう祈念申し上げ挨拶いたします。

また、平成21年度一般会計補正予算は、歳入・歳出それぞれを993万4千円減額し、総額117億51万2千円としました。主な内容は、11月24日の臨時会で可決した一般職員の給与改定にともなう人件費の減額や、乗合タクシー運行実績の増加にともなう負担金の増額などです。

議会では、この補正予算案を全員賛成で可決しました。

議員発議

賛成多数で可決する

16日の定例会最終日、議案に対する質疑と採決が行われました。主な質疑を要約しお伝えします。

本会議質疑

町長の専決処分指定事項に関する決議について

これまでの専決処分指定事項に追加して、住宅使用料・保育料・給食費などの納入者と未納者との公平性を担保するため、悪質な未納者に対し提訴などの対応を議会に諮らず町の判断でできるようにする発議です。

反対討論

泉美和子議員 景気が悪化し格差と貧困の広がりの中、払いたくても払えない人達もいます。滞納を一律に悪質とせず、これまで同様、実情を十分調査し困難でも繰り返し対応することが町政としてとるべき道であると考えます。

賛成討論

熊谷隆一議員 年々、未納額が増加し納税に対するモラルハザードを起こしかねない状況にあります。現下の厳しい経済情勢の中、努力して納付している町民の気持ちを大切に、町民総意で美郷の発展を目指すべきであり、本発議は適正なルールであると考えます。

六郷中エコ対策サッシ改修工事請負契約 エコサッシの効果は

飛沢龍右工門議員 六中のエコサッシ工事での従来型サッシとの比較と、費用対効果をうかがいます。

辻学務課長 従来品と比べると窓から逃げる熱を2〜3割抑えることが期待できます。体育館、特別教室はすでに改修済みで、今回教室棟・管理棟を含め



改修される六郷中の教室棟

国保税の見直しは

泉美和子議員 医療費、高額医療費ともに伸びていますが、その理由と今後の税の見直しをうかがいます。

右谷福祉保健課長

一つには受診件数の増加です。昨年比で月平均8200件から8600件に、加えて長期入院も同様に月平均11人から29人と倍以上に増えた事が主な要因となっています。今後の見直しについては、未確定部分の国庫補助ももらえるように取り組みをしながら医療費の推移なり動向を見定めてまいります。

六中全体を二重ガラスにすることで熱効率がさらに上がるものと思われま。

国民健康保険特別会計補正予算



六郷東根地区の簡易水道工事

簡易水道事業特別会計補正予算

上下水道の普及率は

武藤威議員 それぞれ、旧町村からの取組みをしてきた経緯がありますが、美郷町としての上下水道の普及率はどれくらいですか。

鈴木建設課長 現在、簡易水道事業は、11カ所実施しており60%ほどの接続率です。公共下水道事業は、六郷地区のみで、44%ほどの接続率になっております。

人事

美郷町教育委員の選任



榎尾 順子氏 (新任)

第11回臨時会 (11月24日)

特別職の手当・職員給与などを引き下げ

11月24日、第11回臨時会を開催し、人事院勧告に基づき、一般職の職員給料を若年層を除き月平均0・2%引き下げ、月25000円の持ち家分住居手当を廃止、期末・勤勉手当を12月支給分0・15カ月分引き下げる条例改正案を賛成多数で可決しました。

反対討論

泉美和子議員 公務員の給与引き下げは、民間労働者の給与引き下げに連動し、賃下げの悪循環がくり返され、消費購買力の低下につながり、地域経済に影響すると考え、反対します。

また、町長など特別職と議会議員の期末手当を12月支給分0・1カ月引き下げる条例改正案は全員賛成で可決しました。

更なる議会改革に向けて協議する

12月8日、美郷町議会全員協議会を開き、前任期中に取り組んだ議会改革や住民と議会との懇談会などについて協議しました。その結果、議会改革については、新たに『美郷町議会意見交換会』を設けて協議することが決まりました。また、住民と議会との懇談会については、今後も継続して開催し、今年度は1月25・26・27日の3日間にわたって町内9箇所で開催することに決まりました。

なお、今回開催する住民と議会との懇談会では、テーマを『これからのまちづくりについて』といたしました。たくさんの方のご参加と、多くのまちづくりへのご提言をお待ちしております。

一般質問

3議員が町政を質す

ただ

質問者

- 深澤 均 議員
- 戸澤 勉 議員
- 泉 美和子 議員

美郷町農業に町独自の対策を 引き続き支援する



深澤 均 議員

議員 3年前に農地解放以来の大改革として、水田・畑作経営所得安定対策が実施されました。町内多数の農家が真剣に取り組んだ結果、多数の集落営農組織、農業法人が設立され、明日の美郷農業に向かって試行を繰り返し歩み始めたばかりです。しかし政権交代により

またもや大転換、猫の目農政どころでなく、農家は混迷を深め不安は募るばかりです。国の政策はどうあれ、美郷農業のしつかりした歩みを進めることが大事です。予想される激変により、農家の努力が損われ農意欲が後退しないよう、力強いメッセージと町独自の対策が必要と考えますが、見解をうかがいます。

農家は既に来年の農業準備に入っており、国には速やかに制度内容を決定するよう切望しています。

町では制度の詳細が明らかになり次第、迅速な周知や相談、指導に努めます。いかなる制度変化があっても、日本の食料を支えるのは地域の農業者であり、真剣に取り組んでいる集落営農組織や農業法人など、担い手農業者の方々に町として引

町長 政権交代に伴い農業政策がまた大きく変わろうとしているが、まだ新たな制度の詳細が明確になっていない状況です。

米の個別所得補償制度は、生産調整の目標達成を条件に、すべての販売



大豆の収穫

自殺対策に相談機能の充実を 連携のとれた取り組みに努める

議員 自殺予防対策についてうかがいます。全国の自殺者数は、10月末で2万7644人と12年連続で3万人を突破する状況で過去最悪と懸念されています。福島少子化担

当大臣は、緊急対策を発表し、ハローワークに総合的な相談窓口を設置すると言います。

秋田県でも街頭キャンペーンを行い、相談窓口の連絡先が書かれたチラシ

シを手渡しアピールしています。秋田市では「自殺対策全国フォーラム」が開催され、相談体制のあり方を核に核になる人物が必要とありました。町でも住民の方々に最も身近な民生児童委員の相談活動に自殺対策もお願いし、また、社会福祉協議会の相談機能の充実が肝要と思われま

重複に絡み合う自殺問題に対応するためには、地域における相談体制の整備、相談に携わる方

町長 自殺予防対策の推進に当たっては、住民の立場に立って相談に応じる民生児童委員の役割も重要と考えております。

町では、現在68名の民生児童委員の方々から多岐にわたる相談内容を、身近な相談窓口として、各地域で重要な役割と活躍を担っていただいております。

自殺予防対策については、県や町社会福祉協議会、民生児童委員など関係機関、関係者と情報交換を密にしながら、連携

町道改修工事の計画は

議員 町道竹原・内村線の改良計画や、全体計画についてうかがいます。

町長 町総合計画や地域活力基盤創造交付金事業年次計画に基づき、町道竹原・内村線もその計画にある一路線となっており、大畑地区農地集積加速化基盤整備事業にあわせて22年度から事業に着手する予定です。



メンタルヘルスサポーター養成講座



戸澤 勉 議員

請願・陳情

採択し意見書を提出しました

- ◇改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情書
秋田県司法書士会 会長 鈴木 敏夫
- ◇雇用と生活をまもる施策強化を求める陳情
秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章
- ◇くらし支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情
秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章
- ◇法務局の増員に関する陳情
全法務省労働組合東北地方本部
秋田地方法務局支部大曲分会
分会長 須田 真史

- ◇2010年度の年金確保に関する陳情
全日本年金者組合秋田県本部
執行委員長 渡部 雅子
- ◇最低保障年金制度創設などを求める陳情
全日本年金者組合秋田県本部
執行委員長 渡部 雅子
- ◇後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情
全日本年金者組合秋田県本部
執行委員長 渡部 雅子

趣旨採択しました

- ◇社会保障と教育予算の拡充を求める陳情
秋田県労働組合総連合
議長 佐々木 章

提出議案一覧

同意第3号	美郷町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	議案第96号	平成21年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第3号
議案第83号	工事請負契約の締結について	議案第97号	平成21年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第3号
議案第84号	美郷町行政センター設置条例の制定について	議案第98号	平成21年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第3号
議案第85号	美郷町公民館設置条例の一部改正について	議案第99号	平成21年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第5号
議案第86号	美郷町公民館使用料徴収条例の一部改正について	発議第5号	町長の専決処分指定事項に関する決議について
議案第87号	美郷町老人福祉センター清水苑の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について	発議第6号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出について
議案第88号	美郷町交流センター設置条例の一部改正について	発議第7号	雇用と生活をまもる施策強化を求める意見書の提出について
議案第89号	美郷町交流センター使用料徴収条例の一部改正について	発議第8号	行政サービスの拡充を求める意見書の提出について
議案第90号	美郷町都市公園条例の一部改正について	発議第9号	法務局の増員に関する意見書の提出について
議案第91号	指定管理者の指定について	発議第10号	2010年度の年金確保に関する意見書の提出について
議案第92号	指定管理者の指定について	発議第11号	最低保障年金制度創設などを求める意見書の提出について
議案第93号	指定管理者の指定について	発議第12号	後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書の提出について
議案第94号	指定管理者の指定について		
議案第95号	平成21年度美郷町一般会計補正予算第9号		

議会の動き

6日	議会広報特別委員会	11日	議会運営委員会 第12回議会定例会
4日	議会広報特別委員会	8日	議会全員協議会
16日	議会広報特別委員会	4日	議会運営委員会
15日	教育民生常任委員会	24日	第11回議会臨時会
14日	教育民生常任委員会 産業建設常任委員会	16日	議会広報特別委員会 会視察研修(17日)
	総務常任委員会		

住宅リフォーム助成事業の創設を 防災などの観点から検討する



泉 美和子 議員

議員 「仕事がなくて普通に生きていくのが大変だ」こういう切実な声が住民の方々から寄せられています。仕事と雇用の確保は住民生活を守る上でとりわけ切実で緊急な課題と考えます。

町内業者の仕事と雇用を創出し、下水道などの加入促進にも効果が期待できることから町民が町内業者を利用しての住宅の改修、修繕などの工事に対しての工事費用の一部を町が補助する「住宅リフォーム助成事業」の創設を求めます。

町長 個人所有住宅への公金支出については、町民に対して説明責任を果たせる整理ができなければなりません。



助成制度を検討している太陽光発電

「町総合計画後期基本計画(案)」の中で、生活の安全、安心につながる一般住宅の耐震補強や、環境問題に関連する太陽光発電システムの導入など、防災に強い町づくり、

議員 子育て世代のリスクや失業で貧困が広がっている中、大仙市同

医療費無料化の拡大を求める

自然にやさしい町づくりの一環として助成制度を検討しています。

また、「ヒブ」という細菌が原因で起こる細菌性髄膜炎から子どもを守るため、町としてヒブワクチン接種費用の助成を行い、国への供給体制強化を求めるべきと考えます。

乗り合いタクシーの運行改善を

議員 「医療機関の前で乗降できるようにしてほしい」「町全体を一本で運行できないか」という声が寄せられています。タクシー業者の営業との兼ね合いもあると思いますが、少しでも町民の利便性を高める改善が必要だと思います。

町長 美郷町地域公共交通活性化再生協議会でも同趣旨の発言があったとうかがっており、協議を待ちたいと思います。

町長 財政環境が許すのであれば拡大した方が望ましいと認識しています。しかし、学童保育の対象学年拡大や、学校教育法に基づく要保護者に対する支援策など、優先的に実施する必要がある支援策があり、六年生までの拡大については考えておりません。

ヒブワクチンについては、任意接種でもあり、現在の状況を把握し、検討するとともに、国の接種の考え方についても見解をうかがってまいります。



ふるさと水探検

シリーズ「キラリ美郷人」は、今回から10回にわたり美郷町内の小中学校を紹介します。

あったか山の大家族

六郷東根小学校



本校では、毎年秋に、「あったか山の大家族」という行事を行っています。この行事は、子どもたちがとても楽しみにしている行事で、全校縦割り（学年枠をはずして）の班行動を中心にしたものです。

今年度の「あったか山の大家族」は、台風のため当初の計画を変更し、後期初めの10月15・16日に実施しました。初日の午前中は、千畑南小学校の5年生と本校の子どもたちが町民の森で、ゲームなどをして交流しま

した。午後はあったか山温泉に行き、夕食の準備をしました。夕食は、野外炊飯でメニューはカレーです。子どもたちは火を起こしたり、米をといだりして準備をしました。夜は、縦割りの男子と女子の班でコテージに泊まりましたが、年上の子と年下の子が遊んだり、お風呂に入って楽しい時間を過ごしました。2日目の午前はあったか山温泉の上流で、土地改良区の方々にご指導いただき、水中生物を調

べる「ふるさと水探検」をしてこの行事を締めくくりました。この全校縦割りの方式は、小規模の学校でなければなかなか実施が難しいものです。しかし、年上の子どもと年下の子どもの交流から生まれる教育的効果は大変捨てがたいものがあり、4月から開校する新小学校で何らかの活動に生かしてもらえればと考えています。

校長 高橋 智弘

編集後記

定例会初日、町内施設でノロウイルスが発生していると町長の報告がありました。その夜、我が家でも園に通う孫たち家族が一齐に発症、あまりの酷さに付添いも含め総勢7人で仙北組合病院の救急外来へ。次々と訪れる患者たち、そして親子が並んで点滴されている様をみて医療の有り難さと大切さを実感し、議会の一員として地域医療にしっかり取り組まなければとの思いを強くした一夜でした。

深澤 均

議会特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 泉 美和子 |
| 副委員長 | 深澤 均 |
| 委員 | 吉野 久 |
| 委員 | 戸澤 勉 |
| 委員 | 飛澤龍右エ門 |
| 委員 | 深澤 義一 |

次回定例会は、3月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。